

5つの分科会で決算をもとに 市税の使い方を厳しく審査しました。

▼総務分科会



むねた裕之
(高津区)

- 市職員の長時間労働、会計年度任用職員について
- 卸売市場の公的役割について
- 臨海部の大規模開発について
- 投票率と投票所について

▼総務分科会



市古次郎
(中原区)

- かわさきWi-Fi保守委託料について
- 雨量・水位情報提供業務委託料と防災気象情報提供業務委託料について
- 商店街魅力アップ支援事業補助金について
- 財政読本作成委託料について
- 収支フレームについて
- 臨海部交通ネットワーク形成推進事業について

▼文教分科会



小堀しょうこ
(高津区)

- 平和館運営事業について
- 認可保育所等整備事業について
- 不登校対策推進事業費
- 別室指導モデル実施、ゆうゆう広場について
- 教職員募集採用事業費について

▼文教分科会



斉藤のどか
(麻生区)

- 多文化共生社会に向けた取り組みについて
- 川崎市学習状況調査について
- 生理用品の設置について

▼環境分科会



石川けんじ
(宮前区)

- 脱炭素化取組計画書、報告書制度の成果と課題について
- 国際コンテナ戦略港湾事業関連補助金について
- 東扇島コンテナターミナル整備費、管理運営費について
- 工業用水道事業会計について
- 自動車運送事業会計、減便による利便性への影響と対策について

▼まちづくり分科会



井口まみ
(多摩区)

- 空き家利活用推進事業について
- 市営住宅入居募集制度の変更について
- コミュニティ交通について
- 街路樹の維持管理について
- 稲田公園の再整備について
- 橋りょう長寿命化修繕計画について

▼健康福祉分科会



渡辺 学
(幸区)

- 日常生活用具等給付事業について
- 地域生活支援拠点施設について
- 介護サービス費について
- 消防力の強化について
- 市立病院職員の働き方について
- 市立病院の患者満足度について

▼健康福祉分科会



後藤まさみ
(川崎区)

※健康福祉分科会会長のため、質問できませんでしたが、民主的分科会運営に貢献しました



決算審査特別委員会 (9月12日～10月3日)

総括質疑より

2025年10月3日に行われた決算審査特別委員会で総括質疑を行いました。

障がい者 日常生活用具給付等事業 給付金引き上げの検討は 行われていなかった

障害者が生活を送るために欠かせない日常生活用具の給付事業について、物価高騰の影響を踏まえ上限額を引き上げすることは、障害者の切実な願いですが、市は専門機関の意見を聞き検討すると答弁しながら検討する機関も意見を聞く場もなかったことがわかりました。障がい者に寄り添い、切実な願いである給付上限額引上げを強く求めました。

臨海部 不要不急の大規模事業は凍結を

決算を通して、臨海部のキングスカイフロント関連事業について、この10年間で川崎区の製造業の事業所数、従業員数、法人市民税の課税額はどれも増えていないということが明らかになりました。

市は、新たにJFEが撤退した扇島の土地利用転換事業を進めており、扇島とのアクセス道路、港湾施設などに市の税金を2050億円も投入する計画です。水素拠点については、予定していたオーストラリアからの水素輸入が中止となり、水素調達も目途が立たず、発電コストも火力発電の2倍にもなり、技術的課題も多数あり必要性、実現性も極めて乏しいのが現実です。液化水素サプライチェーンの事業は見直すことが必要です。あらためて、市民の暮らし・雇用を犠牲にして、膨大な税金を投入する不要不急の大規模事業は中止・凍結することを強く求めました。

